

令和5年度 校内課題研究発表会

[1・2年探究科学科、2年普通科]

令和6年1月24日（水）、2年探究科学科の校内課題研究発表会を、富山県高岡文化ホールの多目的小ホール・第1展示ホール・第2展示ホールの三会場に分かれて実施しました。

2年探究科学科の生徒にとっては、昨年4月から10か月にわたって行ってきた課題研究の最後の発表会で、どの班も、思いのこもった発表をしていました。観覧した2年普通科や1年探究科学科の生徒も、疑問点などを積極的に質問していました。また、これまでご指導いただいた大学の先生方のほか、近隣の中学・高校の先生や2年探究科学科生徒の保護者など、多くの方に観覧していただきました。

ポスターセッションの後、多目的小ホールにおいて、1・2年探究科学科生徒全員が参加して、全体会を行いました。

最初に、これまでご指導くださった大学の先生から講評をいただきました。「研究はその過程自体が貴重な体験であり、上手くいったことやいかなかったことのすべてを今後の生活や研究に活かしてほしい」との言葉をいただきました。

次に、1年代表生徒が、来年度に向けての抱負を述べました。

続いて、2年代表生徒が、「課題研究は当たり前でできると思っていたが、想像以上に大変だった。しかし、班員みんなで助けあい高めあう貴重な体験になった」と自らの成長と周囲への感謝の言葉を述べました。

最後に永原副校長から、「身近なテーマを設定しながら、最後には普遍性のあるひとかどの研究に仕上げていくこの課題研究は、グローバルリーダーとしての資質を磨く絶好の体験となったと思う。3年生になっても、しっかり探究活動を行ってほしい」と、労いと激励の言葉をいただき、閉会となりました。

《生徒の感想》

- どの研究も身近なものやことに関する疑問から出発しているが、自分は全然疑問を持ったことがなかったものが多く、もっと課題発見力を鍛えなければいけないと思った。(1年)
- 一番すごいと思ったことは、単に仮説を立てて検証し結果から考察して終わりではなく、実験が上手くいかなかったらその原因を考えてまた新しい実験に挑戦するというのを、何回も繰り返して結論にたどり着いているということだ。今から課題研究に必要な力を高めたいと思った。(1年)
- 研究を続けると、それまで自分には見えなかった世界が見えるようになったり世界が広がったりするのかなと思ひ、来年度の課題研究がとても楽しみになった。(1年)
- 仮説を立て実験するというのを繰り返し、自分たちの求める結果に近づけることができたが、もっと実験回数を増やしてより正確なデータをとることができれば、よりよい研究になったと思う。(2年)
- 興味のあることをただ調べても「研究」にはならない。もっと先行研究を分析したり、使用する指標や事例を吟味するなどして、社会的に意義のある「研究」を意識するべきだった。(2年)
- 最初の発表はただ原稿を読むだけだったが、回を重ねるごとに聴衆の反応を見ながら発表できるようになり、プレゼン力がついたと感じた。(2年)



物理2班の発表の様子
〈多目的小ホール(1階)〉



英語班の発表の様子
〈第1展示ホール(2階)〉



生物班の発表の様子
〈第2展示ホール(3階)〉



全体会の様子
〈多目的小ホール(1階)〉